

教員氏名	杉山 実加	職位	准教授
最終学歴	早稲田大学大学院 教育学研究科 単位取得退学		
学位	博士（教育学）（早稲田大学）		
役職		委員会	実習委員会、保育科専攻科委員会
担当科目	<p>（保育科）</p> <p>保育内容指導法「生活と言葉」</p> <p>子どもと言葉</p> <p>幼児教育指導法</p> <p>保育実践演習</p> <p>保育基礎演習Ⅰ・Ⅱ</p> <p>保育実習ⅠB（事前事後指導）、保育実習Ⅱ（事前事後指導）</p> <p>児童文化</p> <p>保育・教職実践演習（幼稚園）</p> <p>（保育専攻科）</p> <p>学習総まとめの基礎</p> <p>学習総まとめ</p> <p>幼児の言葉特論</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	<ol style="list-style-type: none"> 『新編 よくわかる教育の基礎』湯川次義編著 『現代保育内容研究シリーズ③ 保育をめぐる諸問題』現代保育問題研究会編 『最新 よくわかる教育の基礎』湯川次義・久保田英助・奥野武志編著 		
教育研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 「幼児期との関連を重視した綴方教育の導入：昭和初期における金子好忠の実践を中心として」『日本教育史論集』第1号（早稲田大学大学院日本教育史研究会、2016） 「静岡県駿東郡における地域文集『児童文苑』に関する一考察：その背景としての教科研究会の活動に着目して」『地方教育史研究』第36号（全国地方教育史学会、2016） 「昭和初期における表現指導を重視した綴方教育の展開に関する研究—実践内容・方法を中心に—」（博士論文、早稲田大学、2018） 「1920年代後半からの綴方における表現指導」『子ども学』第6号（萌文書林、2018） 「明治20年頃の女性雑誌において「逸脱した母」とされた乳幼児の母親像」『名古屋短期大学研究紀要』第59号（名古屋短期大学出版部、2021） 「明治期の『読売新聞』において逸脱とされた乳幼児の母親の言動」『名古屋短期大学研究紀要』第60号（名古屋短期大学出版部、2022） 「明治期の『女学雑誌』と『婦人衛生雑誌』において逸脱とされた乳幼児の母親の言動」『名古屋短期大学研究紀要』第61号（名古屋短期大学出版部、2023） 		

所属学会	<ol style="list-style-type: none">1. 日本保育学会2. 教育史学会3. 全国地方教育史学会4. 幼児教育史学会5. 関東教育学会
------	--